

第4章 重点プロジェクト

望ましい環境像の実現に向けて、本市の地域特性や課題などを踏まえ、重点的かつ計画的な展開を図っていく必要がある重点プロジェクトを推進します。

1. 再生可能エネルギーの利用推進

太陽光などを活用した再生可能エネルギーの利用を推進し、カーボンオフセット制度等と連携した新たな施策を検討します。

2. バイオガスプロジェクトの推進

生ごみ等を活用したバイオガスプロジェクトを推進し、資源循環型社会システムの構築を目指します。

3. EV普及によるまちづくりの推進

EV（電気自動車）普及によるまちづくりを進め、本市の温室効果ガス排出量の約42%を占める運輸部門の削減対策を推進します。

4. 生物多様性の保全

「生物多様性地域戦略」を策定し、生物多様性を保全することにより、健全で恵み豊かな自然環境を将来の子どもたちに継承します。

5. 環境保全活動のネットワークの構築

「かごしま環境未来館」を中心として、市民・事業者・市民活動団体など、さまざまな活動主体とネットワークを構築し、協働・連携しながら環境保全活動を推進します。

第二次鹿児島市環境基本計画 重点プロジェクト

プロジェクト名	1 再生可能エネルギーの利用推進
主管課	再生可能エネルギー推進課
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ○既存施策の継続・推進 太陽光発電システムの公共施設への率先的な導入 住宅用太陽光発電システムの設置補助 ○新たな施策の検討・推進 風力や小水力などの公共施設への導入 風力や小水力などの市民・事業者への導入促進策検討
現状と課題	<p>【現状および実績等】</p> <p>(26年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○太陽光発電システムの公共施設への率先的な導入 メガソーラー発電所計画に基づき、公共施設へ太陽光発電設備の設置を推進した。 平成26年度末現在の累計実績：76施設 1963.16kW (「市有施設屋根貸し太陽光発電事業」設置分含む) ○住宅用太陽光発電システムの設置補助 住宅用太陽光発電システムを設置する市民等に対して、補助金を交付した。 平成26年度末現在の累計実績：設置件数：10,193件 出力総計：41,911kW ○風力や小水力などの再生可能エネルギーの導入促進策検討 25年度の再生可能エネルギー導入促進研究会からの提言を踏まえ、本市が取組む方向性や具体的項目を掲げる「再生可能エネルギー導入促進行動計画」の策定に向けた検討を進めていたが、固定価格買取制度の見直し等を踏まえた検討が必要となったことから、策定作業を一時休止し、27年度に研究会を引き続き設置し、その意見も踏まえた上で策定することとした。 ○風力や小水力などの公共施設への導入 公共施設への風力発電設備のモデル的導入に向け、可能性調査を行った。
	<p>【課題等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○固定価格買取制度の見直し等を踏まえた電力の活用方法や、導入促進に向けた取組策など、各面から検討する必要がある。
	<ul style="list-style-type: none"> ○太陽光や風力などの再生可能エネルギーの導入促進策検討 25年度の研究会からの提言を踏まえ、本市が取組む方向性や具体的項目を掲げる「再生可能エネルギー導入促進行動計画」を策定するとともに、これに基づき年次的に事業を実施していく。
今後の方向性	

第二次鹿児島市環境基本計画 重点プロジェクト

プロジェクト名	2 バイオガスプロジェクトの推進
主管課	南部清掃工場
現状と課題	<p>【現状および実績等】</p> <p>(これまでの検討経過)</p> <p>24年度 バイオガス施設整備基本計画策定 25年度 バイオガス施設整備基本計画の詳細検討及び同計画を 基に、南部清掃工場の整備スケジュールを調整</p> <p>(26年度事業内容)</p> <p>バイオガス施設整備に向け、処理対象物の効率的・安定的な確保の検討などを行うとともに、経年的な老朽化が進んでいる南部清掃工場と併せて一体整備するため、新南部清掃工場（ごみ焼却施設・バイオガス施設）整備基本計画を策定した。</p>
	<p>【課題等】</p> <p>・整備に向けた事業手法の検討など</p>
今後の方向性	<p>南部清掃工場のごみ焼却施設と併せて一体整備し、33年度稼働を目標に、事業に取り組んでいく。</p>

第二次鹿児島市環境基本計画 重点プロジェクト

プロジェクト名	3 EV普及によるまちづくりの推進
主管課	再生可能エネルギー推進課
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ○カーシェアリングの導入 ○インフラの整備 ○EV購入時の補助 ○公用車への率先導入
現状と課題	<p>【現状および実績等】</p> <p>(26年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○EV購入時の補助 EVの普及促進により、自動車使用に伴う温室効果ガス排出量の削減を図ることを目的に、EVを購入した市民・法人へ補助を行っている。 ・補助額：15万円/台 ・補助件数：24年度：52台、25年度：58台、26年度：59台 ○公用車への率先導入 「鹿児島市環境対応車導入指針」に基づき、公用車等を環境対応車に切り替える一環として、電気自動車の導入を図っている。 ・導入台数：24年度：3台、25年度：5台、26年度：1台 ○充電インフラの整備・管理運営 かごしま環境未来館に設置した急速充電設備の管理運営を行った。
	<p>【課題等】</p> <p>EVの普及にあたっては、本体車両価格が、年々下がりつつあるが、依然、高額であり、ガソリン車に比べ航続距離が短い。</p>
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○EV購入時の補助 国等の助成制度の状況やEVの普及状況を踏まえ、補助制度の見直しを検討する。 ○公用車への率先導入 引き続き導入を図っていく。 ○充電インフラの整備 民間による設置が進められていることから、その状況を注視する。

第二次鹿児島市環境基本計画 重点プロジェクト

プロジェクト名	4 生物多様性の保全
主管課	環境保全課
主な取組	鹿児島市生物多様性地域戦略の策定
現状と課題	<p>【現状および実績等】</p> <p>鹿児島市生物多様性地域戦略（平成26年3月策定）に基づき、生物多様性の保全及び持続可能な利用に関する施策を推進した。</p> <p>（26年度実績）</p> <ul style="list-style-type: none"> ①かごしま自然百選の選定 ②市民活動団体等との協働による生物多様性保全活動の推進 ③国際生物多様性の日（5月22日）を契機とした市公共施設等と連携した生物多様性の実感イベント等の開催 ④生物多様性向上推進委員会（庁内）の設置、開催
	<p>【課題等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内の生物多様性（生き物の生息生育）の情報不足への対応 ・生物多様性への理解の向上 ・自然百選に選定された地域の今後の保全策の検討
今後の方向性	<p>国際生物多様性の日を契機とした生物多様性の実感イベント等の開催の拡大、自然百選の活用、子ども向けへの教材等の作成により、生物多様性への理解の深める取組を積極的に推進するとともに、市内の生物多様性に関する情報の収集方法等について検討する。</p>

第二次鹿児島市環境基本計画 重点プロジェクト

プロジェクト名	5 環境保全活動のネットワークの構築
主管課	環境政策課
現状と課題	<p>【現状および実績等】</p> <p>地域における環境学習や環境保全活動を推進していくため、地域で環境保全活動に取り組む市民団体や事業者と協働して各種事業を実施した。</p> <p>(26年度実績)</p> <p>○地域まるごと共育講座 平成26年7月6日～平成27年3月26日(全30講座)</p> <p>○環境活動発表交流会 平成26年9月6日(会場:かごしま環境未来館)</p> <p>○地域まるごと環境フェスタin郡山 平成26年10月17日(会場:スパランド裸・楽・良 悠遊館)</p> <p>※サテライト登録団体 48団体(H27.3.31現在) ※環境未来館登録団体 29団体(H27.3.31現在)【重複登録有】</p>
	<p>【課題等】</p> <p>各団体の現状や求めていることの把握が必要。団体同士の連携を促進するために交流できる場を創出することが大事である。</p>
今後の方向性	<p>団体のニーズをより把握するために相互のコミュニケーションを積極的に図るとともに、環境活動発表交流会以外にも地域毎の交流会を開催する。</p>